



2025年2月28日

日本鉄道労働組合連合会

## ジェイアール・イーストユニオン(JREユニオン)「地協・地本代表者会議」

### 2025春闘へ積極果敢に取り組み、JR東日本で働く仲間の総結集を図ろう!

JREユニオンは2月8日、千代田区内で地協・地本代表者会議を開催。2025春季生活闘争をはじめとする当面の活動方針を確立した。

主催者挨拶を行った小林徹志中央執行委員長(JR連合副会長)は、東北・秋田新幹線の列車分離事象等



田村まみポーズでの参加者集合写真

に触れ、「改めて安全最優先の取組が求められている」と危機感を示したほか、「今次闘争を通じて組織拡大・強化を図ろう」と呼び掛けた。同会議では、JR連合の相良夏樹組織局長と住吉一家労働政策局長、田村まみ参議院議員が激励と連帯の挨拶を行った。

執行部は、「12,000円(JR連合統一要求)+3,000円(JREユニオン上積み分)の純ベア要求」「夏季手当3.0ヵ月分要求」を軸とする今次闘争方針を提起したほか、志を同じくする他労組との合流について、次期定期大会までに一定の形にしていく旨提起した。出席者からは組織拡大に係る経過や展望等について質疑があり、そうした思いも受け、改めて取り組んでいく意思を固め合った。

### 新鉄労組と合同で“2025春季生活闘争総決起集会”を開催!



JREユニオン・新鉄労組の集合写真

JREユニオンは代表者会議終了後、同日、今次闘争方針を確立した新鉄労組役員らと合流の上、合同での「2025春季生活闘争総決起集会」を開催した。同集会では、JREユニオンの小林委員長、新鉄労組の松山修二執行委員長がそれぞれ

挨拶したほか、JR連合側から荻山市朗会長、今井孝治関東地方協議会議長(JR連合執行委員)が来賓挨拶を行った。

その後、両労組からの「単組決意表明」を経て、新鉄労組の川口直人書記長は、「新たな労使関係で持続的な賃上げを実現しよう」と力強く集会アピールを行った。最後は両労組委員長が並んでの力強い団結がんばろうで集会を締め括った。